

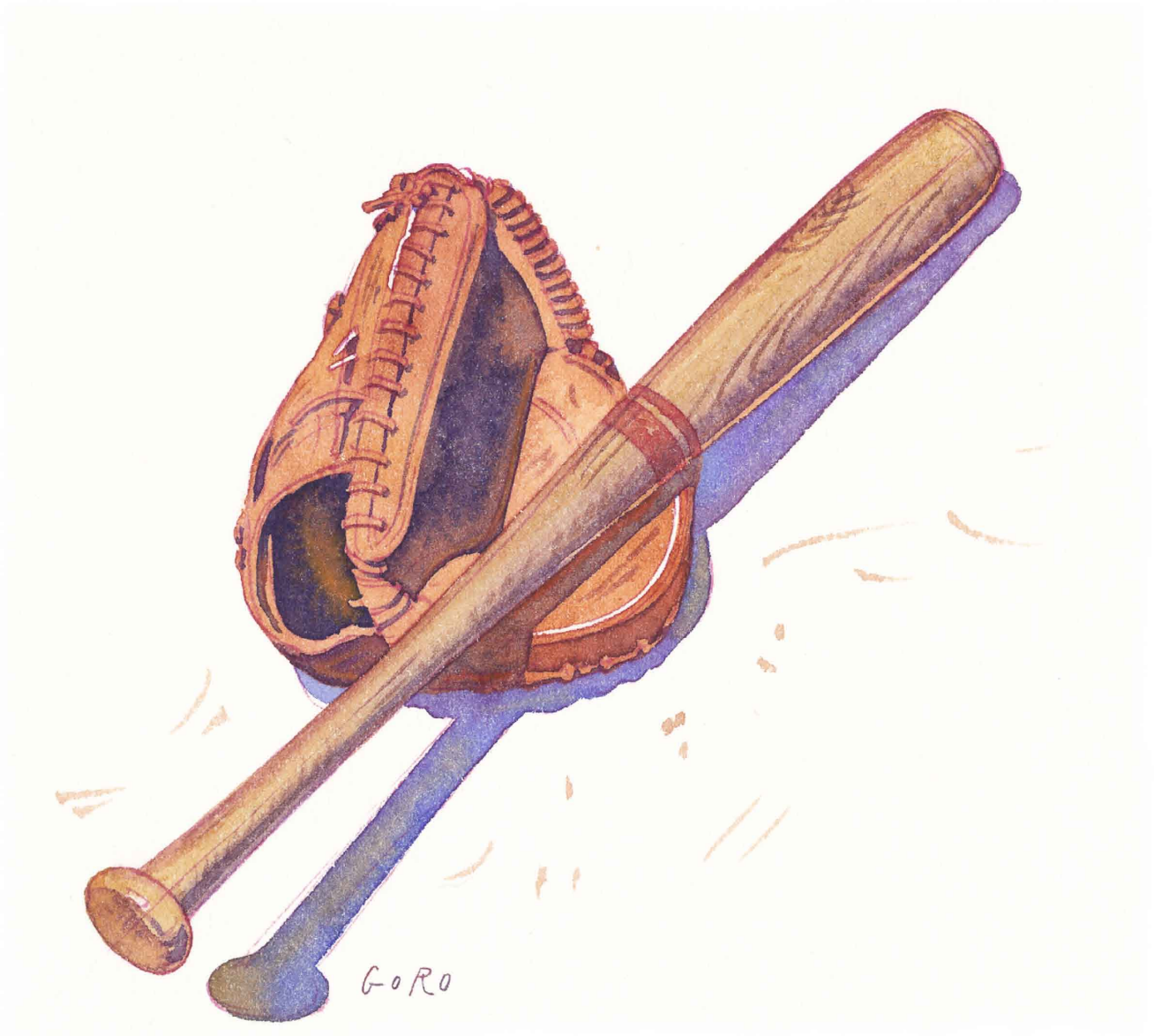
# RKU Today

流通経済大学広報誌

SPRING / SUMMER 2015

【特集】

本学の半世紀を振り返る



流通経済大学

vol.31

04 【特集】

文：平島敏幸（50周年編集委員会）

## 本学の半世紀を振り返る

08 Close Up!

流通経済大学

### [教職員紹介]

10 【馬場啓一のRKUウォッチング】

文：馬場啓一（法学部教授）

バトントワーリング日本一  
齋藤真菜さん スポーツ健康科学部2年

12 【OB/OG訪問】立川が聞く。

取材：立川和美（社会学部教授）

岡部拓人さん（2004年3月卒業・FIFA国際主審）

14

新任教職員紹介

15

付属柏高等学校ニュース

16

2015年度後援会総会 報告

17

流通経済大学校友会からのお知らせ

18

NEWS & TOPICS

2014年度卒業式／2015年度入学式／第10回青春祭／硬式野球部が全国大会で準優勝  
海浜実習／第39回ヨーロッパツアー

## 巻頭言

RKU Today SPRING/SUMMER 2015

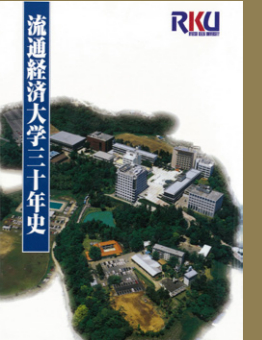


貫き通すこと。  
人生で大事なことは、これである。  
卒業して社会に出ても、  
自分のやりたいこと、  
やるべきことを貫き通す。  
学生時代は自分の目標が見えない。  
だが見つかったら  
学生といえども、貫くべきである。  
学業であれ、スポーツであれ、  
一生続けられるものに出会うこと。  
これは人生の一大事だ。  
そういう貫き通せるものに  
出会って欲しい。

# 【特集】 本学の半世紀を振り返る

平成 28 (2016) 年 3 月末に、『流通経済大学五十年史』が刊行される予定です。『流通経済大学三十年史』がこの世に出てから、およそ 20 年ぶりの出版です。その間、流通情報学部・法学部・スポーツ健康科学部が新設され、新たに新松戸キャンパスが竣工して、龍ヶ崎キャンパスにはスポーツ健康センターが完成しました。今号の特集では、その刊行に先立ち、流通経済大学の半世紀を、要点を絞ってご紹介します。

文：50 周年編集委員会 平島敏幸



平成10年に刊行された  
「流通経済大学三十年史」

1

【昭和】  
40 (1965) 年度～  
43 (1968) 年度

流通経済大学は、昭和40年に日本通運株式会社からの資金の提供によって、茨城県龍ヶ崎市に開設された。建学の目的は流通問題の経済学的な研究と教育にあり、開学時は経済学部経済学科（入学定員200名）のみの単科大学であった。開学記念式典が挙行されたのは、昭和41年5月、また校歌が制定されたのは、昭和42年11月であった。この時期は大学の草創期、校内に日々建築の音が響き、全国から集まった学生はフロンティア・スピリットが合言葉であった。

2

【昭和】  
44 (1969) 年度～  
48 (1973) 年度

この時期は大学の苦難の時期

すべく、高校設置をはじめとする様々な企画が構想されつつあった。

5

【昭和】  
59 (1984) 年度～  
63 (1988) 年度

流通経済大学が急速かつ広範な発展を見せたのが、この時期である。昭和59年には、情報処理センターと体育指導センターが設置され、60年には付属柏高等学校が開校した。ま

で、完成年度を過ぎたものの、立地の不利もあって志願者は増加の兆しを見せなかった。財政難を迎えて、緊縮財政路線がとられ、目標となったのはまず財政均衡であった。大学全体で停滞を打破すべく全学シンポジウムや学長信任選挙など学内の民主化を実現し、また昭和45年の経営学科新設、48年の産業経済研究所の開設など研究・教育も環境が整備されたが、停滞は長く続いた。

3

【昭和】  
49 (1974) 年度～  
53 (1978) 年度

長く続いた低迷の中にもようやく曙光が見え始めていた。しかし依然として苦難の時期が続いていた。学費の改訂が進められ、楽観は許さないものの、財政均衡が実現しようとしていた。

昭和50年の開学10周年を期として施設の充実が図られ、図書館・セミナーハウス・グラウンドが建設された。志願者数

6

【平成】  
元 (1989) 年度～  
7 (1995) 年度

この時期はとりわけ質的な

た同年には、北京経済学院との学術交流協定の締結が、国際化への第一歩を踏み出した。61年に臨時定員増があり、また63年には社会学部社会学科が開設されて複数学部が実現し、新校舎も建設されて大学は大きく変貌を遂げた。

4

【昭和】  
54 (1979) 年度～  
58 (1983) 年度

も徐々に増加の兆しが見え始め、大学はようやく停滞期を乗り越え自立、発展に向けて歩み始めようとしていた。

この時期は、発展への準備期と位置づけることができる。昭和54年は定員増の実施と専攻科の設置に始まった。同年秋には、野球部が念願の全日本大学野球選手権大会への出場を果たして、教職員・学生の意気も高まった。56年には澤村記念館が竣工した。そして学内では60年の開学20周年を飛躍の跳躍台と



平成12年頃の龍ヶ崎キャンパス全景。右の方から、図書館、2号館（A館研究棟）、その奥、6号館（新研究棟）、5号館、中央広場、前に来て1号館、4号館、3号館、学生ホール、澤村記念館（茶色の建物）、体育館、弓道場。写真の手前に来て、自彊館（茶色の建物）、教職員用駐車場、トレーニングセンター（平屋）、教職員クラブハウス、大文字山寮、国際学生会館、7号館（建築中）である。

昭和40年の校地の航空写真。A館管理棟（取り壊し後、現中央広場）、A館研究棟（2号館、取り壊し）、B館講義棟（3号館）の東側半分である。B館以外は、残されていないので、記憶にないという人も多いかもしれない。

昭和50年頃の校地の写真。写真の左側はC館で、昭和46年3月竣工である。写真の右側、管理棟の上にあるのは昭和51年4月に竣工された図書新館である。閲覧室として使用されるため、後に蔵書の収蔵場所が問題となった。



充実に目標が向けられた。元年の大学院経済学研究科修士課程の設置を皮切りに、6年までには経済・社会両大学院の博士課程の開学が実現した。3年にも再び臨時定員増があり、5年には国際観光学科が新設された。国際交流の面でも、元年に国際言語情報センターが開設された。7年に、流通経済大学は創立から30年を迎えた。図書館・本館・6号館（新研究棟）の新築や環境の整備もあって、学内は大いに活気づいた。



上空から見たメインアリーナ



夕方のスポーツ健康センター

平成21年のメインアリーナ竣工により完成したスポーツ健康センター



7  
[平成]  
8 (1996)年度~  
12 (2000)年度

この時期に、次の飛躍に向けて学内の整備等が着々と進められた。平成8年に流通情報

報学部流通情報学を新設し、3学部が実現した。10年には5号館が完成した。3階以下が学生の福利厚生を目的とし、4階以上が少数教育の実現を目的とする施設である。また、流通情報学部では「ロジステイクス」が中核の概念になり、10年に「流通問題研究所」が「物流科学研究所」と改名

し再スタートを切った。平成11年からはAO（アドミッション・オフィス）入試が始められた。AO入試とは、志望動機、入学後の意欲などで総合的な人物評価を行って、面接・小論文で可否を判定する入試である。12年にはインターンシップとオフィス・アワーの導入が実現した。大学草創期からの教育理念である「空理空論を語らない実学主義」を実現するための諸施策が実施された。



平成16年に開校した新松戸キャンパス

8  
[平成]  
13 (2001)年度~  
17 (2005)年度

流通経済大学が4学部を持ち、第二キャンパスを建築したのが、この時期である。平成13年に法学部の企業法学科（現ビジネス法学科）と自治行政学科を開設した。企業法学科は、流通、とりわけ物流に関する研究、教育に法学的側面からアプローチし、多面的な問題解決に寄与し得る人材を

取得できる制度や平成25年のGPA（学生総合評価）制度の導入、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）の導入、特別奨学生の新設等々がそれぞれである。

10  
[平成]  
22 (2010)年度~  
27 (2015)年度

流通経済大学は、間もなく50周年を迎えるが、わが国の大学をとりまく環境は今後も厳しく、大学は「冬の時代」とか「全入時代」と形容される。そこで、新制度を次々に導入し、教育上の効果を挙げようとしている。平成23年の

小学校教員の免許（通信）を取得できる制度や平成25年のGPA（学生総合評価）制度の導入、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）の導入、特別奨学生の新設等々がそれぞれである。

\*

創立50周年を迎えた流通経済大学は、全学を挙げて次の50年への道を切り拓くための努力を行っている。フロンティアへの挑戦は、今後



新松戸キャンパス高層棟



けやき通りから望む新松戸キャンパス



新松戸キャンパスの中庭「キャンパスプラザ」

9  
[平成]  
18 (2006)年度~  
21 (2009)年度

平成15年に留学生別科日本語研修課程が設置された。留学生が増えて全学生の10%、400名を占めるに至ったからである。また、平成15年にセメスター制度が導入された。

平成16年4月に千葉県松戸市に「新松戸キャンパス」が開設された。流通経済大学にとつて、第二の誕生ともいえるべきものである。新キャンパスの開設に伴い、日本で初の「キャンパス選択制」が導入された。これは、学生が自分が学ぶキャンパスを主体的に選べる制度である。



[教育学習支援支援課]

川崎貴久 職員  
Takahisa Kawasaki

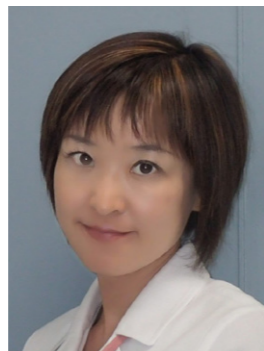
生粋のRKU人です

私は、流通経済大学付属柏高校卒(21期)・本学スポーツ健康科学部卒(44期)。現在、職員として4年目になり、RKUでの11年目のシーズンを迎え、生粋のRKU人と自負している。

私は、少年時代から野球に熱中した生活を送り、高校まで硬式野球を。怪我の影響もあり、本学入学と同時に軟式野球へ転向し、4年生の時には全国3位の成績を収めた。職員となった今は教職員野球部で活動している。

今年は、開学50周年だが、昨年度から課外活動の学生たちが全国の舞台上で活躍し、本学を盛り上げている。今年でいうと、私が所属していた軟式野球部も全国大会に6大会連続での出場が決定し、硬式野球部は全日本選手権で準優勝という結果を残してくれた。そして、我々教職員野球部も8月に行われる私立大学連盟の野球大会に4連覇をかけ、挑戦する。

と、課外活動の話が続けたが、日常では学生が困った時に相談できる関係も作っていきたい。そして、今後も学生たちと一緒にRKUを盛り上げていきたいと思っている。



[スポーツ健康科学部]

金子衣野 准教授  
Sono Kaneko

turn over a new leaf

今年度よりスポーツ健康科学部に就任しました。昨年度まで大学病院の小児科で、おもに神経疾患の診療に従事していました。医学の道は日々の診療を通して患者さんから学ぶことが多いのですが、4月からは一転逆の立場になり、毎日講義の準備に追われています。そもそも医学部というものは医師国家試験受験資格を得るための専門学校のようなもので、月曜から土曜日まで、朝から夕方まで、授業はみっちり組み込まれ、自分なりの時間割や、多学年が混じった授業もあります。実習が始まれば放課後のアルバイトも難しくなります。他大学部に就任し、1年生からゼミを持つことになり、「ゼミって何?」「時間割は人によって違うの?」と毎日????の連続でしたが、最近ではいきいきと活動している学生たちと接している中で、自分ももう一度新しい大学生活を体験させてもらっているようです。「教えること」の難しさに日々苦戦していますが、学生の皆さんに「この大学で学んでよかった」と思ってもらえるよう頑張っていきたいと思っています。



[法学部]

島田美小妃 講師  
Misaki Shimada

犯罪を行う人の立場にたてますか?

本年度より法学部に着任しました。私の専門は「刑法」で、講義科目も「刑法」を担当しています。刑法は、犯罪と刑罰に関する法律です。おそらく、みなさんは、犯罪に対して否定的なイメージを抱いていることでしょうか。

ここで、仮に、コンビニの店員さんが渡された金額を勘違いして、みなさんにお釣りを多く手渡してきた場合、みなさんならどうするでしょうか。黙ってお釣りを貰えば詐欺罪になります。このようなケースは決して、みなさんの日常と無関係ではないと思いますし、みなさんは日常的にテレビ報道等によって多くの刑事事件に接しているでしょう。

そこで、大学では、みなさんが比較的容易に共感しうる被害者の立場ではなく、犯罪者の目線から、犯罪や刑罰について考えてみてほしいのです。みなさんに刑法に興味を持ってもらえるよう、そして、広い視野で物事を判断する力を身につけてもらえるよう、少しでもお手伝いすることができればと思っています。



[流通情報学部]

後藤隆彰 講師  
Takaaki Goto

ソフトウェア開発に関する研究をしています

2015年4月より流通情報学部の講師として着任いたしました後藤です。どうぞよろしくお願い申し上げます。私は茨城県出身で、高校まで茨城で過ごした後、大学入学時に茨城を離れ、学生生活、社会人生活を送り、再び茨城の地に戻って参りました。

専門はソフトウェア工学で、ソフトウェアの開発支援環境や実践的なソフトウェア開発教育、ソフトウェア開発方法論等の研究に取り組んでいます。特に最近では、独創的なソフトウェアを少人数で開発するための方法に関するテーマに興味を持ち、日々試行錯誤しています。現在研究しているソフトウェア開発方法論を確立し、学生の皆さんにも、自分の考えたものが実際のソフトウェアとして誕生する楽しさ、喜びを少しでも体験してもらえたらと思っています。

情報分野に興味のある学生の皆さんはもちろん、情報分野が得意ではないけどチャレンジしてみたいという方も歓迎ですので、是非声をかけてください。



[社会学部]

藤野公孝 教授  
Kimitaka Fujino

「人生万事塞翁が馬」己を信じて頑張ろう!

終戦から70周年の今年は、本学にとっても創立50周年の記念すべき年にあたります。50周年の本学の歴史の中で、私はまだ3年目を迎えたばかりの新参者ですが、担当する「観光産業論」や「観光事業論」の授業や各学年のゼミの場を通じて、次の世代を担う一人ひとりの学生諸君の成長に少しでも手助けになるのがわが人生の総仕上げの仕事だと思っています。

自分はまず大学を卒業して役人(運輸省)を30年やり、その後政界に転じて1期6年参議院議員をやり、さらに教職の世界でも本学を含めて6年間やってきましたが、大学生時代は東大紛争、その後社会人となってからはバブル崩壊、省庁再編、政権交代など、今から思えば結構激震に巻き込まれてきました。そうした私の人生から得た教訓すなわち「人生万事塞翁が馬」を肝に銘じ、己を信じて頑張ろうと学生諸君を励ましていきたい。



[経済学部]

高橋由記 准教授  
Yuki Takahashi

学んでほしいこと、いろいろあります

私の専門は日本古典文学です。今から千年ほど前の平安時代の文学、具体的には『枕草子』や『源氏物語』などの研究をしています。本学では1年演習(ゼミ)の他、教養科目の文学(日本文学)、リベラルアーツ入門、現代文章論を担当しています。日本文学では、古典に限らず近現代も含めた有名な作品・作家、さらには文学の背後にある日本文化について講義をしています。

日本文学や文化を知ることは、すぐに役立つというわけではないかもしれませんが、教養は思わぬところで力を発揮するものです。現代文章論では、文章の基本や敬語などの講義と実践を繰り返して、学生の日本語力向上を目指しています。たとえば、バスツアーの新人ガイドが「もうすぐバスがいらっしゃいます」とツアー客に説明していました(実話)。これは間違っていますよね。学生の皆さんには、すぐに役立つことも、いずれ役立つかもしれないことも、さまざま学んでほしいと思っています。

馬場啓一の  
RKU  
ウォッチング  
RKU Watching



● 齋藤真菜 / さいとう・まな

宮城県仙台市生まれ、千葉県市川市に在住。フェアリーズバトンスタジオに所属。  
小学6年生から全国大会に連続8回出場し入賞。  
今年大学一般部門で全国女子1位。世界大会は14歳で初出場。今年も8月にカナダで開催される世界大会日本代表に3種目選出。団体は高校時代昭和学院バトン部に所属し3年連続全国出場。



Mana Saito × Keiichi Baba

【第27回】  
スポーツ健康科学部2年  
齋藤真菜さん  
(昭和学院高校卒)

バトントワリング日本一

スポーツ健康科学部2年生の齋藤真菜さんは、これまでバトントワリングの各種競技で全国トップの成績を収めてきた。本学期待のホープである。

「6歳のときから始めました。なんとなく、という感じでした。でも小さい頃からダンスとかは好きでしたね。ご近所から教えて下さる人がいて、友達とちよつとやってみようか、という軽い気持ちで始めたのです」

今では最低でも1日3時間、週末には6時間から8時間もの練習を行う。練習の鬼なのだ。「だから休みの日に何かをする、というようなことはないのです。もし好きなことをやるとしたらアウトドアのスポーツでしょうね」

徹底した体育系女子である。でも見た目は可愛い、フツウの女子大学生である。

「バトントワリングには数百種類のワザがありますが振り付けは自由で、先生と相談しながら、付けていきます」

競技は、個人と団体に分かれ、個人では1曲につき1分30秒。団体では、3〜4分。種目数も多く、ご存じの方も多いだろうが、男子の部もあるという。「男子は、女の姉妹がやっているから、という理由での始め方が多いですね。10点満点の持ち点でスタートし、減点法で点数が決まります」

バトントワリング競技において求められる特質は一体なんだろう。

「やはりパワーと度胸です。フィギュア・スケートと同様、見栄えの良さが要求されます。それと、両手で操るバトンの技術との相乗効果で点数が決まります」

器用さと度胸の良さ、それに運動神経が総合して、競技は完成される。

「勿論これは競技のときで、普段はイベントのパレードで先頭を受け持っています」

我々がしばしば目にする光景である。こういう場面で、大いに花を添え、盛り立てる役割を担っている。

「それからエキジビションも大事なお仕事。フィギュア・スケートでもありますよね。イベントの途中でバトントワリングの演技を、お客様に見せるのです」

盛大な拍手を送られると嬉しい。あんなこと、とても自分にはできないという表情で、お客さんは驚嘆して見ている。

「将来は体育教師を目指しています。そして後進の指導に当たりたいです。負けず嫌いだからゼツタイ実現させます」

国際競技で世界中を廻る。練習も激しい。学業との両立はたいへんだろうが、貫き通して欲しい。

「対抗勢はオーストラリアとかカナダ、それにフランス。そういう国が強いんです。アジアはまだ、少ないですね」

両手の親指と人差し指の間に、それぞれ硬いタコが出来ている。これまでの精進の、これが結果だろう。手は大きいほど、良いのだという。

「片手でバトンを上放り、それを受け止めてクルクルと回します。これを二日千回繰り返すのです。右手と左手の両方で」

……頑張ってください。



大学時代はいつも  
自分が ready の状態、  
準備しているという  
気持ちを持ってほしい。

——岡部さんは今年1月1日付  
でFIFA国際主審となられたそ  
うですが、ご幼少のころからサッ  
カーをされていたのですよね。

はい。小学1年生からサッカー  
を始め、それから大学までずっと  
ですね。流経大でもサッカー部に  
在籍し、寮生活を送っていました。

——「審判」という仕事に興味を持  
たれたきっかけというのは？

大学2年生の頃だったと思うの  
ですが、練習試合で、それこそジャ  
ンケンに負けて審判を担当するこ  
とになりました、それが「審判」  
という仕事を意識したきっかけで  
した。当時、サッカー選手として  
活躍できる人は、ほんのひとりに  
りだとわかっていましたから、「審  
判員」という形で第一線に関わっ  
ていくことができたらいいな、と思

(主審)に登録されました。ただ、  
国際主審となった今でも、やるこ  
とに変わりはなく、常に課題を見  
つけそれに取り組む姿勢を持つよ  
うにしています。

——審判のお仕事の魅力とい  
うのはどこにありますか。

審判員は、選手がプレーに集中  
できるようにリードする立場にある  
と思っています。そのためには、ど  
ういうサッカーが理想のサッカーな  
のか、サッカーの本質を知る必要が  
あると思っています。また、サッカー  
そのものに対する魅力もあります  
ね。私は福島出身ですが、東日  
本大震災で被災した人たちがサッ  
カーを通じて元気になっていくの  
を目の当たりにしてきました。審  
判員の立場からそういう魅力をサ  
ポートしていきたいと思っています。

——大学時代は社会学部社会学  
科に在籍されていたのですね。

はい、教職も取っていました。学  
生でありながら「教える」「伝える  
」ということを重視した授業は  
非常に面白かったですね。またサッ  
カー部の寮では4人部屋だったの  
ですが、時々チームメイトと夜遅  
くまで「自分たちはこの先どうな  
るのか」という不安を打ち明け  
あったり、「親に心配や負担をか

## OB/OG訪問 立川が 聞く。

小学校から大学まで続けたサッ  
カーに、現在は「審判員」として  
第一線で関わり続ける岡部拓人さ  
ん。今年からFIFA国際主審とな  
り、ますますの活躍が期待されます。

第36期生  
(2004年3月 社会学部卒業)

岡部拓人 さん  
Takuto Okabe

(取材)  
立川和美 (社会学部教授)



ようになっていったんです。何より、  
審判員は目の前でスーパープレーを  
見ることができずし、目標であ  
り、憧れであった大会のピッチに立  
てる喜びもあります。最初はそ  
のような、どちらかというとミ  
な興味が大きかったと思います。

——ただ、「国際審判」というのは  
大きな目標だったのではないですか。

ええ。大学3年で、将来の方  
向を考えている時だったのですが、  
2002年FIFAワールドカッ  
プが日本で行われていて、そこで  
上川さんという日本人のプロの審  
判員(現審判委員長)が活躍す  
る姿を目にして、「そういう道が  
あるのか」ということを知りまし  
た。「一般企業に就職するという選  
択肢もあったのですが、やはり自  
分の夢を追いかけたいという思い

けていながら、このままでいいのか」  
と話し合ったのもよい思い出です。

——そして、現在は日本語学校に  
お勤めという「二足のわらじ」で  
頑張っているというお話ですが、  
お仕事のバランスはどの  
ようにとらえているのですか。

そうですね。2010年から日  
本語学校の事務局に勤務しており、  
学生募集や入管の手続き、学生の  
生活指導全般など、仕事は多岐  
にわたっています。仕事を多岐  
として当然ですが、片方のために  
片方が疎かになることはないよう  
に心がけています。現在は、む  
しろ審判員と日本語学校とがそれ  
ぞれよい意味でそれぞれの息抜き  
と言えますか、気分を一新して集  
中できるような関係になっていま  
すね。

——国際的に活躍されるように  
なるという意味でも、両方のお仕  
事はいい影響を与えて行くように  
思えます。

はい。海外の試合などでは、や  
はりそれぞれの文化によって選手  
の気質が違います。日本人には以  
心伝心で察し合ったりするのが自  
然なことでも、海外の選手の場合  
はコミュニケーションを求めてくるこ  
とが多いんです。「言わないとわか

が強く、また幸運にも応援して  
いただけの環境にも恵まれ、審  
判員の道を進み始めました。

——サッカーの審判員というお  
仕事に就くためにはどのような  
ステップを踏んでいらしたのです  
か？

大学4年生までに、審判資格  
2級までは取得していましたが、  
1級審判資格はかなりの難関で、  
資格保有者は約190人しかい  
ません。私は、日本サッカー協会  
のレフリーカレッジというトップレ  
リー養成校に2年間通い、1級  
審判資格を取得しました。そし  
て、たくさんの試合を担当し、経  
験を積み重ねて、JFL、J2、  
J1とステップアップをしてきま  
した。そして今年、日本サッカー  
協会から推薦され、国際審判員

らない」、逆に「言えばそれに反  
応してくれる」ということもあり、  
オープンになれるんですね。これ  
からは海外での試合も増えてきま  
すが、こうしたコミュニケーション  
力については、両方の仕事で大切  
なことだと考えています。

——最後に流経大生にひとこと  
お願いいたします。

大学時代はいろいろなチャンスが  
あります。どんな状況にあっても、  
どんな立場でも、自分が何をやり  
たいのか、自分がどうなりたいの  
かを発信していくことが大切です。  
いつも自分が「レディー(ready)」  
の状態、準備しているという気持  
ちを持ってほしいと思います。大  
学時代は失敗してもどうにかな  
ります。逆にミスは大学時代にど  
んどんすべきだとも思っています。

それから、人間関係ですね。先  
ほど話しましたが、大学時代のサッ  
カー部の仲間は今でもいい関係が  
続いています。悩みや夢を語り合  
うことができる大学時代こそ、素  
晴らしい友達ができると思います。

——ありがとうございました。

さわやかなスポーツマンの岡部さんは、  
質問に対して明るく、また誠実にお答  
えくださいました。お仕事がお忙しい  
中、お休みの日はどうされているの  
ですかと伺うと、「僕は本当はゆっくりと  
家で休みたいのですが、妻のリクエ  
ストで買い物などに出かけることが多  
いですね」と愛妻家の一面をお見せに  
なりました。



Wonderful  
Life Stories  
with  
Dr. Kazumi  
Tachikawa



創立30周年を迎えた附属柏高等学校

流通経済大学附属柏高等学校は2015年4月に創立30周年を迎え、各種記念事業が行われています。詳しくは流通経済大学附属柏高等学校のホームページをご覧ください。附属柏高等学校HP <http://www.ryukei.ed.jp/>

年表 流通経済大学附属柏高等学校沿革

- 1985年4月 ● 流通経済大学附属柏高等学校開設(全日制普通科)
  - 1988年4月 ● 普通科II類コース設置(従来の普通科I類コースとする)
  - 1999年4月 ● 普通科III類コース設置
  - 2001年7月 ● 校舎3階に多目的ホール竣工
  - 2002年9月 ● 第2グラウンド(サッカー場)竣工
  - 2012年1月 ● スクールバスロータリー新設 ※①
  - 4月 ● 2階建て部室棟新設 ※②
  - 2013年3月 ● 食堂・視聴覚室を備えた4階建新校舎竣工 ※③
  - 2014年9月 ● 2階建第2体育館竣工 ※④ 現在に至る
- ※①～④は創立30周年記念事業として前倒しで実施

附属柏高等学校30年の歩み

流通経済大学の創立20周年を記念して千葉県柏市に創設された本校「流通経済大学附属柏高等学校」は、今年で創立30周年を迎えました。1985年の創立以来一貫して、「智識(智慧と見識)の涵養と真理探求の精神を培い、日本の教養と国際性を身につけながらスポーツや文化活動の振興によって、正義、誠実の心と勇氣ある気質を育てる」という教育方針のもと、国際社会で活躍できる社会有為の人材の育成に努めてきました。

本校生徒は一人ひとり志が高く、様々な分野での目標達成・自己実現に向けて日々努力しています。部活動、取り分け運動部では、これまでサッカー部が4度の全国制覇、ラグビー部が20年連続全国大会出場、その他の個人競技でも世界大会や全国大会で優勝するなど、輝かしい成績を残しています。文化部も、放送部や吹奏楽部、書道部、文芸部などが全国大会や関東大会に出場しています。おかげ様で、今では地元東葛地区をはじめ、千葉県内外からも大きな期待が寄せられる高等学校にまで成長いたしました。

卒業生は9,405名を数えますが、海外に雄飛して活躍している人、スポーツ界のトップアスリートとして頑張っている人、起業してリーダーシップを発揮している人など、さまざまな分野で、本校で培った力と個性を活かして活躍する人を数多く輩出しています。

開校当初は学校全体が深い森に囲まれ、緑の中に白亜の校舎が映える環境でしたが、開校10年を過ぎた頃から学校周辺が少しずつ変化しはじめ、1999年の「東京大学柏の葉キャンパス」の開校と「柏の葉総合競技場」の開場を機に大きく様変わりしました。本校東側一帯に公共施設や商店・住宅などが建ち並び、2005年つくばエクスプレス線「柏の葉キャンパス駅」が開業すると、ショッピングセンターや高層マンションが次々と建設されました。駅周辺や本校正門前の東大西門通りは、今も分譲住宅の建築が続いています。

本校では創立30周年を迎えるにあたり、数年前からその記念事業として施設の整備に取り組んできました。これまでに、スクールバスが発着する校内バスロータリーの新設、卓球場やトレーニング場を含む2階建の部室棟、食堂や視聴覚室等を備えた4階建新校舎(2号館)、2階建の第2体育館などが完成しています。いずれも日通学園・流通経済大学の支援を受けてのものですが、より多くの生徒に新設備、新施設を利用してもらうために、30周年事業を前倒しする形で実施してきました。

今後は、大学の附属高校として高大連携の強化を図りながら、本校の新たな時代の幕開けとなるよう、魅力溢れる教育支援体制の更なる充実を目指してまいります。

校長 林 静男



附属柏高等学校全景

多目的棟(部室棟)(2012年竣工)

新校舎(2号館)(2014年竣工)

第2体育館(2014年竣工)

新任教職員紹介

2015年4月から本学に着任した教員、職員を紹介します。



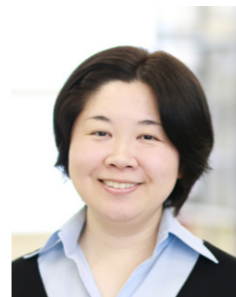
池村 恵一  
経済学部准教授

経歴・取得学位等  
早稲田大学大学院商学研究科  
博士後期課程単位取得満期退学  
修士(経営学)



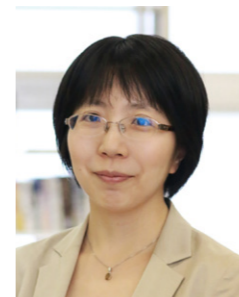
板谷 和也  
経済学部准教授

経歴・取得学位等  
東京大学大学院新領域創成科学研究科  
博士後期課程修了  
修士(環境学)



加藤 祥子  
経済学部准教授

経歴・取得学位等  
早稲田大学大学院商学研究科  
博士後期課程単位取得満期退学  
修士(商学)



森 悠子  
経済学部講師

経歴・取得学位等  
一橋大学大学院経済学研究科  
博士(経済学)



小松 郁夫  
社会学部教授

経歴・取得学位等  
東京教育大学大学院博士課程  
満期退学  
教育学修士



後藤 隆彰  
流通情報学部講師

経歴・取得学位等  
東洋大学大学院工学研究科  
博士後期課程修了  
博士(工学)



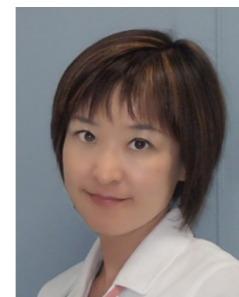
島田 美小妃  
法学部講師

経歴・取得学位等  
中央大学大学院法学研究科  
博士後期課程修了  
博士(法学)



隅谷 史人  
法学部講師

経歴・取得学位等  
慶應義塾大学法学研究科  
後期博士課程単位取得退学  
修士(法学)



金子 衣野  
スポーツ健康科学部准教授

経歴・取得学位等  
帝京大学大学院医学研究科  
博士課程修了  
博士(医学)



小池 求  
教育学習支援センター講師

経歴・取得学位等  
東京大学大学院総合文化研究科  
博士課程単位取得満期退学  
博士(学術)



咲本 英恵  
教育学習支援センター講師

経歴・取得学位等  
名古屋大学文学研究科日文学専攻  
日本文学講座単位取得満期退学  
博士(文学)



番澤 清美  
就職支援センター講師

経歴・取得学位等  
三井物産株式会社・法政大学大学院  
経営学研究科修士課程修了  
修士(経営学)



杉山 年弘  
図書課  
就職課参与

経歴・取得学位等  
日本クーリエサービス株式会社・  
流通経済大学経済学部経済学科  
卒業(10期生)  
学士(経済学)



藤原 智子  
図書課

経歴・取得学位等  
丸善株式会社



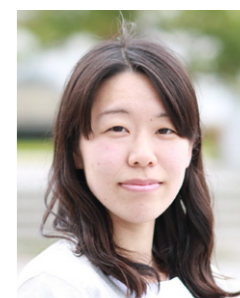
大胡 満慎  
体育指導センター  
駅伝部監督

経歴・取得学位等  
横浜市立中学校教員



小宮山 慎  
インストラクター

経歴・取得学位等  
流通経済大学スポーツ健康科学部  
スポーツ健康科学科卒業  
学士(スポーツ学)



山田 英鈴  
インストラクター

経歴・取得学位等  
流通経済大学スポーツ健康科学部  
スポーツ健康科学科卒業  
学士(スポーツ学)



## 第5号議案

### 2015年度収支予算に関する件

#### 2015年度収支予算書

自 2015年4月1日 至 2016年3月31日

(金額単位:千円)

項目	予算	備考
前年度からの繰越	2,431	
前年度金の回収	2,300	
収入の部		
入会金	6,805	新入生1,355名(うち留学生35名)、編転入生6名
会費収入	66,949	
計	73,754	
収入合計(A)	78,485	
支出の部		
通信費	3,000	広報誌「RKU Today」送料ほか
印刷費	1,600	広報誌「RKU Today」印刷、総会案内印刷ほか
会議費	200	
事務費	5,000	
父母懇談会費	4,500	会場使用料、案内状・配付資料作成ほか
雑費	150	
小計	14,450	
後援費		
諸行事後援費	10,000	惜別会、卒業記念品、50周年記念事業ほか
小計	10,000	
求人開拓費	500	求人のための大学案内作成ほか
就職指導費	12,000	業界説明会開催費、模擬試験等受験料、学生配布資料作成ほか
小計	12,500	
課外活動補助費	10,000	スポーツ安全協会傷害保険、課外活動用品ほか
大学祭・体育祭補助費	1,300	
クラブ顧問補助費	26,000	クラブ顧問添付費補助ほか
小計	37,300	
環境整備寄付金	2,000	
支出合計(B)	76,250	
翌年度へ繰越(A-B)	2,235	



### 流通経済大学校友会からのお知らせ

千葉県支部総会が6月13日に行われました。当日は、青春祭やシンポジウムにも参加いただき、学生たちの学びの成果を見ていただきました。



## 第3号議案

### 2015年度役員選出に関する件

2015年度の役員が決定いたしました。

会長 佐藤 忠信  
副会長 渡邊 正一 大野 篤彦 柴田 賢治  
監事 佐久間 行雄 山田 佳史

## 第4号議案

### 2015年度事業計画に関する件

#### 2015年度 事業計画

2015年度は、本後援会の目的(会則第3条)及び事業(第5条)にそって、次に掲げる事業を推進していくものとする。

#### 1 後援会会員(父母)と大学との連携

(1) 父母懇談会の実施に伴う諸費用の援助  
全13会場を予定。  
(龍ヶ崎市、松戸市、宮崎市、松山市、山形市、盛岡市、長野市、静岡市、鳥取市、大阪市、横浜市、札幌市、中国・大連)

(2) 広報誌の発行及び費用援助  
大学と父母を結ぶ広報誌『RKU Today』発行の費用を負担する。

#### 2 就職活動への援助

(1) 求人開拓に関する援助  
(2) 就職指導に関する援助  
(3) 就職適性検査・就職実践模擬試験受験料の全額負担

#### 3 課外活動に対する援助

(1) 文化系、運動系クラブに対する援助  
(2) 課外活動関係設備を充実するための援助  
(3) 課外活動傷害保険料の全額負担

#### 4 諸行事への援助

(1) 学生が開催する大学祭等の行事に対する援助  
(2) 卒業生に対する卒業記念品の贈呈、惜別会開催費用の援助  
(3) 創立50周年記念事業への援助

#### 5 後援会奨学金の貸与

家計急変等により学業継続が困難となった学生に大学と協力し、後援会奨学金を貸与する。

#### 6 その他

環境整備への援助 以上

## 第2号議案

### 2014年度収支決算に関する件

#### 2014年度収支決算書

自 2014年4月1日 至 2015年3月31日

(金額単位:円)

項目	予算(a)	実績(b)	増減(a-b)	備考
前年度からの繰越	17,078,735	17,078,735	0	
前年度金の回収	2,300,000	2,300,000	0	
収入の部				
入会金	6,230,000	6,010,000	220,000	入学者1,202名(うち外国人留学生62名) 加えて2年・3年編入学者15名
会費収入	60,099,000	58,303,750	1,795,250	入会金・会費減額者15名
利息収入	0	16,549	△ 16,549	預金利息
計	66,329,000	64,330,299	1,998,701	
収入合計(A)	85,707,735	83,709,034	1,998,701	
支出の部				
通信費	3,200,000	2,989,586	210,414	広報誌「RKU Today」郵送料、総会通知
印刷費	2,000,000	1,523,738	476,262	上記印刷費等
会議費	200,000	145,028	54,972	
事務費	5,000,000	4,910,000	90,000	
父母懇談会費	5,000,000	4,179,506	820,494	父母懇談会の会場費等
雑費	200,000	101,883	98,117	振込手数料他
小計	15,600,000	13,849,741	1,750,259	
後援費				
諸行事後援費	9,000,000	9,454,155	△ 454,155	卒業記念品代、惜別会費用、全国大会出場応援費用
小計	9,000,000	9,454,155	△ 454,155	
就職活動費				
求人開拓費	500,000	646,036	△ 146,036	就職用大学案内作成費等
就職指導費	13,000,000	11,063,522	1,936,478	就職説明会等補助、就職適性検査・就職模試受験料
小計	13,500,000	11,709,558	1,790,442	
課外活動補助費	13,000,000	10,173,808	2,826,192	課外活動用品購入、スポーツ傷害保険加入代金 新松戸キャンパス キャンパスプラザ用椅子 セミナーハウス除雪機
大学祭・体育祭補助費	1,500,000	1,300,000	200,000	大学祭への援助
クラブ顧問補助費	28,000,000	30,490,122	△ 2,490,122	遠征、合宿等の旅費等の補助
小計	42,500,000	41,963,930	536,070	
環境整備寄付金	2,000,000	2,000,000	0	
前年度	0	2,300,000	△ 2,300,000	
税金	0	794	△ 794	
支出合計(B)	82,600,000	81,278,178	1,321,822	
翌年度へ繰越(A-B)	3,107,735	2,430,856	676,879	

#### 財産目録 (2015年3月31日 現在)

(金額単位:円)

項目	金額	摘要
(一般資金)		
現金	111,321	手許残高
預金(常陽銀行 竜崎支店)	2,319,535	期末残高
小計	2,430,856	
(育英資金)		
定期預金(常陽銀行 竜崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行 竜崎支店)	15,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行 竜崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行 竜崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(千葉銀行 柏支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(千葉銀行 柏支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(千葉銀行 柏支店)	15,000,000	育英基金
定期預金(千葉銀行 柏支店)	5,000,000	育英基金 果実
普通預金 奨学金口(常陽銀行 竜崎支店)	3,299,472	育英基金 果実
育英基金貸付金	3,384,000	5名
小計	91,683,472	
合計	94,114,328	
負債の部	0	
差引正味財産	94,114,328	

#### 監査報告書

流通経済大学後援会会則第10条第3項の規定により、2014年度流通経済大学後援会収支決算について諸帳簿を監査した結果、その内容についてはいずれも正当なものと認め、第13条の規定により報告いたします。

2015年3月26日

監事 佐藤 忠信  
監事 柴田 賢治

# 2015年度 後援会総会 報告

2015年4月1日、入学式終了後に2015年度後援会総会が開催され、各議案について審議、承認がなされました。本学会が学生の父母で組織される後援会は、大学と各家庭との連携を深め、本学の発展・向上を図るために各種事業を行っています。

## 第1号議案

### 2014年度 事業報告に関する件

#### 2014年度 事業報告

2014年4月1日開催の後援会総会において、ご承認いただいた事業計画にもとづいて、次のとおり2014年度の事業を実施した。

#### 1 後援会会員(父母)と大学との連携

(1) 父母懇談会の開催状況  
全12会場、656名のご参加をいただいた。  
(龍ヶ崎市、松戸市、福岡市、鹿児島市、高松市、広島市、新潟市、富山市、秋田市、青森市、福島市、中国・大連)

(2) 広報誌発行の費用援助  
大学と父母を結ぶ広報誌『RKU Today』(季刊)発行の費用を負担した。

#### 2 就職活動への援助

後援会発足以来の重点施策の一つである大学の求人開拓や就職指導に関して全面的に協力し、費用の一部を負担した。また、就職適性検査・就職実践模擬試験の受験料を全額負担した。

#### 3 課外活動等に対する援助

(1) 文化系、運動系クラブに対する援助  
大学の課外活動関係設備が円滑に推進できるよう、文化系、運動系クラブに備品を購入する等の援助をした。  
(2) 課外活動関係設備を充実するため援助した。  
(3) 課外活動傷害保険料を全額負担した。

#### 4 諸行事への援助

(1) 学生が開催する大学祭等の行事に対して援助金を交付した。  
(2) 卒業生に対し卒業記念品を贈呈し、惜別会開催の費用を援助した。  
(3) 全国大会出場応援費用の一部を援助した。

#### 5 その他

環境整備への援助 以上

## 硬式野球部が全国大会で準優勝

# 4

本学硬式野球部は6月8日から14日に開催された第64回全日本大学野球選手権大会に出場、トーナメントを勝ち進んで決勝で早稲田大学と対戦し、準優勝という結果を残しました。

この結果は、選手やスタッフの努力と学生、関係者、地域の皆様の応援の賜物と言えるでしょう。

また、敢闘賞に生田目翼投手（法学部ビジネス法学科3年）が選ばれました。



## 2015年度入学式

# 2

4月1日、入学式が行われ、1,350名を超える新入生を迎えました。式典では、野尻俊明新学長による式辞が贈られ、社会学部国際観光学科の鴻巣快さんによる入学生代表の宣誓が行われました。



## 2014年度卒業式

# 1

3月20日、龍ヶ崎キャンパスのスポーツ健康センター（メインアリーナ）にて2014年度の卒業式並びに学位記授与式が行われました。1,200名を超える卒業生・修了生たちは将来への希望に胸を膨らませながら、本学を卒業しました。

式典で、小池田前学長から「どういう途に進まれようとも、またいかなる困難が待ち受けようとも、一人の自立した職業人としての誇りと自覚を忘れず、最後まで自分を信じて、与えられた使命を全うしてほしい」と激励の言葉が送られました。



## 第39回ヨーロッパツアー

# 6

2月に行われたヨーロッパツアー。イタリア（ローマ・フィレンツェ）からフランス（ニース・パリ）を周り、海外を自分の足で、目で体験してきました。



### 【編集後記】

- 盛夏の空には入道雲と蝉しぐれ、時々ウシガエル。キジのつがいがか近くの茂みを歩く姿も見られる龍ヶ崎キャンパス。
- 学生の様子や校舎などは時代とともにどんどん変化しているのに、こうした原風景のような姿は、50年前から変わっていないのかもしれない、と感じる放課後の一コマである。
- 本誌は今号から配布対象を広げることとなった。より広い世代に向けての情報発信に編集担当も気が引き締まる思いである。（編集者）

## 海浜実習

# 5

スポーツ健康科学部の1年生が2班に分かれ、沖縄県渡嘉敷島での海浜実習に参加しました。海浜実習は、大自然の中で「生命の尊厳」や「人間力」を学び考える場となります。



## 第10回青春祭

# 3

6月13、14日に新松戸学園祭「青春祭 飛躍～10周年だからできること～」が開催されました。ゼミやサークルの仲間たちが協力して出店した模擬店、演技披露、スピーチコンテストなど盛りだくさんの内容で、大盛況のなか終了いたしました。



# OPEN CAMPUS 2015

開催中!

流通経済大学では、新松戸、龍ヶ崎の両キャンパスでオープンキャンパスを開催しています。キャンパスの空気を感じ、先輩や教職員の生の声を聞くチャンス! ぜひご来場ください! 詳しくはホームページ、または入試センターまでお問い合わせください。

開催  
日程

## 新松戸キャンパス

千葉県松戸市新松戸 3-2-1

8/8 土

8/22 土

9/12 土

10/24 土

## 龍ヶ崎キャンパス

茨城県龍ヶ崎市 120

8/1 土

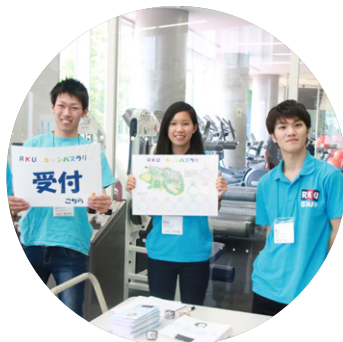
8/29 土

9/5 土

10/3 土

開催  
時間

10:30~15:00 (予約不要)



お問  
い合  
わせ

流通経済大学入試センター

☎ 0120-297-141

✉ ees@rku.ac.jp

🌐 <http://www.rku.ac.jp/>

## ホームカミングデー開催のお知らせ HOME COMING DAY

本学開学50周年を記念し、  
12月5日(土) 龍ヶ崎キャンパスにて、ホームカミングデーを開催いたします。  
当日のスケジュール等、詳細が決まり次第、本学ホームページ等でご案内いたします。

**RKU** RYUTSU KEIZAI  
UNIVERSITY

流通経済大学広報誌 **RKU Today vol.31** 2015年7月発行  
編集・発行 / 学校法人日通学園 流通経済大学企画広報室  
茨城県龍ヶ崎市120 〒301-8555 TEL:0297-64-0001(代表)

  
50th ANNIV.

  
UNIVERSITY  
ACCREDITED  
2015.4-2022.3